

第20回議会改革検討特別委員会

日時：平成29年9月8日（金）午前11時50分～

場所：市議会委員会室

- ◎ 今回の委員会では、7月12日～14日に実施した、八戸市議会及び千葉県柏市議会への視察研修結果を踏まえ、今後の進め方について協議を行った。

【研修結果・意見】

八戸市議会：ペーパレス化等のためのタブレット端末の導入

メリット

- ①ペーパレス化が図られている。
- ②議員への迅速な連絡が取れている。
- ③事務の効率化が図られている。

デメリット

- ①議員の端末操作の技量の熟練に努めなければならない。
- ②導入当初はペーパーも併用しなければならない。
- ③通信環境の整備及び議会側のみの導入は費用対効果が少ない。

千葉県柏市議会：議会改革の取り組み

取り組み内容

- ①議場内に大型スクリーンを設置し、資料等を写映することでスムーズな議会運営を実施している。
- ②採決のための投票システムを導入し、議員の意思が明確に表示されるようにしている。
- ③執行部側に反問権を付与しており、議員の質問に反問できるため、質問内容を正確にとらえ答弁できている。また質問者も質問事項を十分精査しなければならないため、深い議論につながっている。
- ④議員が提案する議案に対して、活発な議論をすることができるようになるため、議員間の自由討議を行っている。
- ⑤最高規範である基本条例の制定、特別委員会の設置など手法にとらわれず、議会運営委員会がその役割を果たしている。

まとめ

タブレット端末導入については、今後機器の価格低下、機能充実、操作性の向上も見込まれることや、費用対効果を上げるために執行部側の導入も必要であると思われることから、執行部側への働きかけもしながら、次期市議会議員改選後を目途に、調査・研修・研究を継続することとし、来年度は導入のための予算要求を行わないこととした。

ただし、いずれは導入になると思われることから、機器に慣れるため試験的に使用する期間はあってもいいのではないかとの意見もあった。

議会改革については、柏市議会は必要かつ先進的な改革を実践しており、その議会としてのスタンスには、一考させられるものであった。

以上のことと踏まえて、改革事項を更に調査・研究する必要があるとの意見で一致し、当市議会の発展に寄与するため議論を深めていくこととした。